

発行日：令和3年2月20日
 発行所：わたなべ友子後援会
 徳島県阿南市長生町宮内9番地
 Tel.Fax 0884-22-4049



<https://www.wattomo.com>

ごあいさつ

議員活動をはじめて1年がすぎました。コロナ禍の中、行政の支援が必要な方の手元に届くように、様々な現場からあがる市民の皆様の声を市政に届けるために必死に取り組んでまいりました。新人議員として議会、行政、そして市民の皆様の現場を「知って学ぶ」ことばかりで、市民の声を反映させることの難しさを痛感しています。その分、どんな小さなことでも市民の皆様の思いが形になったときの喜びはひとしおです。これからも大好きな阿南に感謝し、みなさんの笑顔を願いながら議員の活動を続けてまいります。



保護者の皆さんと意見交換

無所属友の会の発足

所属していた会派が別の会派と合流した時、そこに留まるか、一人会派になるか、多くの方々から様々な意見があり迷いました。

決め手は亡き祖父の言葉「迷ったときは自分が損をする道を選ぶこと」無所属の新人議員として課題となるのは「情報収集力」と、市民の皆様からいただいた要望内容を説明し、納得してもらう「プレゼン能力」を身につけることだと考えました。あえて損をする（≒険しい）道を選ぶことで、議員としての修業を積んでまいります。

コロナ対策会議

一人会派になったことで、会派を超えた有志議員とコロナ対策会議のたちあげに参加できました。（阿南市のコロナ対策の情報を市議と共有し、市民の声を行政にとどけ、YouTube 動画配信でコロナウイルスを正しく知っていただく情報発信につながりました）



〇プロフィール

渡部友子（わたなべ ともこ）

麗澤大学卒業（千葉県柏市）

2013年 こども4人と阿南市に住み始め夫の実家の花屋「グリーンショップ つのみね」を手伝う

2015年 長生保育所 PTA 会長

2018年 阿南第一中学校 PTA 会長

2019年 阿南市議会議員

2020年 長生小学校 PTA 会長

2020年 12月定例会より文教厚生委員会 副委員長

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - (1) 感染者等への支援
 - (2) テレビ会議システムの利活用
- 2 防災対策について
避難所運営における要配慮者の課題と対策
- 3 阿南市における認定こども園化の計画について
 - (1) 第2期阿南市子ども・子育て支援事業計画
 - ア 過去に子どもの命が脅かされたことのある場所
 - イ 統合の周知及び賛同の進捗
 - ウ 質の高い教育、保育の提供の具体的な方針
 - (2) 個別施設計画の進捗
- 4 公共施設の安全対策について
幼い子どもが利用する公共の敷地における除草剤の使用状況
- 5 観光行政について
 - (1) 観光協会と四国の右下観光局との関係
 - (2) 新型コロナウイルス感染症対策について



阿南市議会ホームページより
議会録画中継を
ご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症対策について

Q他の自治体には新型コロナウイルス感染者の家族や濃厚接触者に配食サービスや買い物代行の支援があるが、本市では？

A 県において、要介護者、障がい者が濃厚接触者となった場合、身近に支援者がいない場合は施設への短期入所やヘルパーの派遣ができる体制を整える準備をしている。子どものいる世帯で保護者が感染者となり子どもの養育が困難な場合は県の児童相談所が一時保護します。市では県の支援に当てはまらない方の支援内容を検討し、人権が守られる啓発に取り組みます。

市へは実際に困難に直面する方の把握に努め、支援につなげていただくことを要望しました。

防災対策について

Q避難所運営における要配慮者と女性に関する課題は何か？

市の自主防災組織による避難所運営方針は？

A 避難所運営における最大の課題は「災害関連死」であり、その大部分を

高齢者と障がい者が占めている。女性や子どもへの配慮がないために犯罪被害に遭い、不快で不自由な生活をしいられる報告もある。

方針1「避難所は住民自治により運営され、女性、障がい者にも参画してもらうことでそのニーズが届く体制をつくる」

方針2「避難者全員が要配慮者ファーストの意識をもってプライバシー、冷暖房、食事など優先する運営を目指す」

方針3「男女共同参画の視点から授乳室や育児室、相談窓口の設置、防犯対策など女性の視点を取り入れた運営を目指す」

基本方針を市民の方に解りやすく各種媒体で発信してもらうことを要望しました。

こども園化の計画について

Qこども園化することで質の高い教育、保育の提供に引き続き努めるとあるが、具体的な方針は？

A これまで幼稚園と保育所でそれぞれ培われてきた知識、技能など双方の良さを生かした教育・保育の提供、また家庭支援推進保育所が活動してきた様々な教育支援等については引き続き実施する考えである。

Q長生保育所・本庄保育所のこども園化をもとめる請願が採択されているが整備計画に反映されるのか？地質調査の予算を付けられない理由は？

A 上記請願が平成28年に採択されたことは十分認識しているが、具体的な事業化は、保育所整備の優先順位づけを行い、また限られた財源のもと、市全体としての大規模プロジェクトの進捗調整も踏まえ、整備の時期を見定める必要がある。地質調査の予算は具体的に事業化の時期が明らかになった段階で関連の予算を図る。

Qボヤが出た施設を新しくしてほしいと訴えれば「二か所以上の施設統合ならば」と行政からの提案を受け、保護者がまとまり地元働きかけ統合の賛同に至りました。

請願採択後も行政から「用地についても地元のコンセンサスを得てほしい」との提案を受け町民主体の協議を重ねた末に一か所に絞り込む作業に取り組み、成し遂げました。

つまり、行政と市民が協力しあってこども園化の計画を育んできたのです。地質調査の予算化がされないことでこども園化の計画は停滞し保護者と町民のみなさんの不安が深まっているのが現状です。

市民の声を代弁して市長にお尋ねしま

す。こども園の早期実現のためには「待つ」以外に保護者と町民のみならず子どもたちのために何に取り組んだらよいのでしょうか。

市長答弁

地元関係者の努力、尽力に関しては十分認識をし、敬意を表する。しかし予算化については市内全域を俯瞰した中で時期と具体的予算の検討をするのでご理解を求める。

観光行政について

Q「阿南市観光協会」と「四国の右下観光局」についてそれぞれ本市との連携の在り方の違いと今後の取り組み方針は？

A「阿南市観光協会」は法人格を持たない任意団体。商工観光労政課に事務所を置き、観光業務の一つとして市職員が協会業務に従事している。業務は各種イベントの開催や協賛、後援、観光広告や観光情報の発信、各種団体の

補助金支援、「あななん」のグッズ開発や販売等。今後は関係団体や観光事業に関わる方々との連携を図り、地域の魅力が高まる独自性の高い観光地づくりに向け体制強化も含め、協議を進める。

「四国の右下観光局」は法人格を持つ一般社団法人。「着地型旅行商品」（出発地でなく、到着地で企画されたツアー等）の企画、開発、販売を行い国内外からの観光客増大、地域内での消費促進、雇用創出をはかる「稼ぐ力をたかめる」ことが第一の目的。ブランディングやプロモーション活動をしている。市からは会計年度任用職員1名を派遣し、負担金を拠出している。今後は観光局と連携、協力、支援をし、観光振興にまい進する。

Q 様々なイベントが中止になる中、コロナ収束後の観光産業を盛り上げるための検討はなされたか？

A 国が示す催し物の開催制限などの状況や新しい生活様式の実践に基づく十

分な感染症対策を実施した上で、連携団体及び関係機関と慎重に協議を進めたいと考える。

コロナ収束後においては、外国人の訪日意欲が高いとの調査結果から、インバウンド誘客へのタイムリーな対策が行えるよう、海外への情報発信やマーケティング等を観光局と連携し計画する。

除草剤の使用について

Q 公園など幼い子どもが利用する公共の敷地において、除草剤はどのように使用されているのか？

A 市立公園ではそれぞれの目的、用途に応じ、ザイトロンアミン液剤、ラウンドアップマックスロード、スミソン乳剤を使用。使用時には薬剤の特徴、用途、使用量、並びに作業時に風向き確認を行い、隣接民家などへの飛散影響の確認を行うなど細部にわたる注意、配慮に努め、公園利用者などが安全で安心して利用できる公園管理に引き続き努める。

2020年(令和2年)10月28日 水曜日

阿南市長生地区住民
こども園早期開設を
市に陳情書と署名提出

阿南市長生町の本庄、長早期に開設するよう求める長生保育所の保護者でつく、陳情書を市に提出した。自治会の長生振興会は26日、老朽化が進む両保育所を統合した認定こども園を

仁木啓人県議、飯田忠志市議ら10人が

表原市長(左端)に陳情書を提出する仁木会長(左から2人目) - 阿南市役所

3540人分の署名を添え、市役所で表原立派市長に陳情書を渡した。両保育所の統合を巡っては、2016年12月の市議会定例会で認定こども園化を求める請願が採択され、18年1月には建設会社が長生保育所近くの工場跡地約6330平方メートルを用地として市に無償提供している。仁木会長は「土地があるのに、先延ばしになっている。保護者や地域住民は一日も早い開設を望んでいる」と述べ、市長は「正面から思いを受け止めた上で市政運営に当たりたい」と応じた。

市によると、両保育所は築40年以上経過しており、今年3月に策定した第3期市子ども・子育て支援事業計画の中で、22年度以降に両保育所を統合した認定こども園を開設する方針を示している。(原和弘)

3,544名の署名ありがとうございます！陳情に行ってまいりました。

10月26日「長生認定こども園（仮称）の早期実現と具体的な計画を求める陳情」を保護者、長生町振興会、建設用地選定委員会の代表の皆様と地元選出議員として仁木県議、飯田市議とともに市長に提出いたしました。

市長からは「必要性は十分理解しているが、具体的な計画は持ち帰り、検討する」との答弁。予算がつかない明確な説明はないまま、今後老朽化や自然災害等があった際の保護者と市民の不安は残されたままです。

子どもたちの安心安全な保育のため！

長生認定こども園(仮称)の要望活動

平成27年7月長生保育所で子どもたちがお昼寝をしていた、リズム室の天井から設備の老朽化が原因でボヤが発生。平成26年の大雨では本庄保育所と長生保育所が浸水により孤立。子どもたちのために安全な場所で安心できる施設での保育が必要です。



H26年大雨時の本庄保育所近辺(左)の道路。長生保育所(右)

これまでの経緯

- 平成28年10月 1,277名の署名とともに陳情と請願を提出。保護者を中心となり地域のご協力をいただき「長生保育所」「本庄保育所」の合併について合意形成の上、市長に陳情し、市議会に請願書を提出しました。
- 平成28年12月 市議会で請願が採択される
- 平成29年12月 建設用地選定委員会でサンダイヤ工場跡地が候補地に決定。
- 平成30年1月 「子育てのために」と候補地が阿南市に寄付される。(境界立会済)
- 令和2年3月 次の計画として用地の土砂災害等の危険調査の予算組がなされず。こども園の計画は停滞し、先行き不透明で保護者と町民の不安は深まる現状にある。

今後の活動

長生認定こども園(仮称)にかかる予算を要望し、保護者を中心に賛同いただける市民の方々と共に、こども園の開園にむけて、活動に全力を尽くします。ご理解ご支援をよろしくお願い致します。



長生認定こども園(仮称)の要望活動から見てきた保育の現場

保育環境の現実から 早期改善を痛感しました。



全国的に「保育士が不足」していることを知ってはいましたが、長生認定こども園要望活動を行う中で、保育の現場のかかえるいろんな問題を身近に感じました。そこで、阿南市内の保育の状況を直接学ぼうと、市内のこども園化を予定されている施設に足を運びました。(長生・本庄・大野・中野島・横見・富岡・さくら保育所・富岡幼稚園・横見幼稚園・吉井幼稚園)

課題としては、保育士の人員の確保、賃金、雇用形態、スキルアップのための研修、潜在保育士の現場復帰、保育士のサポート、支援の必要な子どもたちへの対応、安全な施設としての保守管理、条例の改正など……様々な生の声を聞くことができました。

子どもたちの健全な成長には、身近な保育者の心のゆとりが重要です。どうしたら保育士が安心して働くことができるかを切り口に解決の提案をしてみたいです。



子どもたちの豊かな体験のために工夫された、保育所の遊具や菜園を視察。

みなさまの想いを形に！

「農業機械安全使用者養成講座」を阿南で開催し、農耕車免許取得が可能になりました。



「知ってほしい！明谷梅林」

毎年恒例の賑やかなセレモニーが今年度はコロナ禍で中止に。地元有志のみなさんと撮影をしてSNS発信しました。和服と梅の相性はバッチリ。



わたなべ友子まで声をお寄せください

みなさんからの声を頂くことが、まちづくりのスタートになります！阿南市の行政に限らず、知りたいこと、取り組んでほしいことがありましたらお気軽にご連絡ください。

☎ 090-8737-6539

mail : wattomo8225@gmail.com



わたなべ友子のメールアドレスです。

